

25th ANNIVERSARY 細見美術館



日本美術が愛される道のりに沿って――

二十世紀から二十一世紀へ、平成から令和へと移り変わったこの四半世紀、メディアツールや様々なテクノロジーは目覚ましく進化し、日本美術に向けられる世の眼差しも喜ばしい変化を遂げました。細見美術館の歩みは日本美術が皆様に愛される道のりに沿って来れたのだと思います。これからも大切な文化遺産が次の世代の関心を育み、誇りであり続けられるよう、努力してまいります。未来に向かって皆さまの末永いお力添えをお願い申し上げます。

今年、細見美術館は開館二十五周年を迎えました。一九九八年三月の開館から今日まで、細見美術館を支えてくださった皆様に改めて心より御礼申し上げます。開館当時、日本美術は未だ一般に親しまれてはいませんでした。何とか垣根を越えていただけよう、展覧会の企画と同様に、館内のミュージアムショップや、カフェレストランにも力を入れ、美術鑑賞とともに豊かな時間を過ごしていただけるよう努めてきました。美術館も映画やコンサートと並ぶデートコースのひとつに選んでもらいたいと願ったものです。初めて、展示室のガラスケースの前で作品に見入る手繋ぎのカップルを見かけたときの感動を今も忘れることはできません。

今年、細見美術館は開館二十五周年を迎えました。一九九八年三月の開館から今日まで、細見美術館を支えてくださった皆様に改めて心より御礼申し上げます。開館当時、日本美術は未だ一般に親しまれてはいませんでした。何とか垣根を越えていただけよう、展覧会の企画と同様に、館内のミュージアムショップや、カフェレストランにも力を入れ、美術鑑賞とともに豊かな時間を過ごしていただけるよう努めてきました。美術館も映画やコンサートと並ぶデートコースのひとつに選んでもらいたいと願ったものです。初めて、展示室のガラスケースの前で作品に見入る手繋ぎのカップルを見かけたときの感動を今も忘れることはできません。

館長より
ご挨拶

細見良行（細見美術館 館長）

展覧会の企画・展示に携わるほか、趣味を活かして美術館での茶会を開催するなど、伝統文化の普及に努める。

【主な役職】京都市内博物館施設連絡協議会幹事長。裏千家今日庵老分。



EXHIBITION 2023年の展覧会

*展覧会内容は変更する場合がございます。

特別展

初代 志野宗信没後五百年記念－香道 志野流の道統－

2023.3.4(土)～5.31(水)

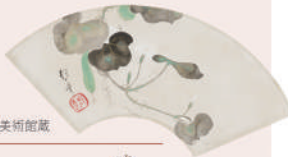
源氏香図本 土佐守光貞画 江戸時代 松岡新藏



琳派展23 琳派の扇絵と涼の美

2023.6.10(土)～8.20(日)

酒井抱一 扇面貼文屏風(部分) 細見美術館蔵



開館25周年記念展Ⅰ

2023.9.5(火)～11.5(日)

開館25周年記念展Ⅱ

2023.11.14(火)～2024.1.28(日)

重要文化財 金銅春日神鹿御正体 細見美術館蔵



CURATOR'S TALK 学芸員が語る、細見コレクションの魅力

――「好き！」が大集合。――

細見コレクションといえば、琳派や若冲などの江戸絵画を思い浮かべる方が多いと思いますが、実は縄文・弥生時代の土器から近代に至るまで、日本美術の幅広い時代とジャンルで構成されています。これは細見家三代の日本美術に対する旺盛な好奇心によるものといえます。各自の琴線に触れたものを1点ずつ吟味し、学びながら蒐集した作品は、日本美術の豊かさを伝えてくれます。

細見家では、蒐集した美術品を季節やお客さまの好みに合わせて部屋に飾り、楽しみながらおもてなしをしていました。屏風や掛軸、茶の湯の道具や調度品の数々は、身近な美として愛されたものですので、親しみやすさも特徴のひとつです。

いずれも彼らにとってワクワクするものであったに違いありません。作品から発せられる言葉にならない魅力…。私たち学芸員も普段、展示作業などで作品に接していますが、見るたびに「ステキよね～」とうっとりしています。

福井麻純（細見美術館 主任学芸員）



PICK UP!

各地で細見コレクションの名品がご覧いただけます！

開館25周年記念展

京都 細見美術館の名品

琳派、若冲、ときめきの日本美術

- | | |
|---|---------------------------|
| ☒ 大阪高島屋 | 2023.3.22(水)～4.10(月) |
| ☒ 東京・日本橋高島屋 | 2023.4.26(水)～5.15(月) |
| ☐ ジェイアール名古屋タカシマヤ | 2023.12.23(土)～2024.1.7(日) |
| ☐ 静岡市美術館 | 2024.4.13(土)～5.26(日) |
| ☐ 長野県立美術館 | 2024年 秋 |

展覧会公式
WEBサイト

展覧会図録

各会場にて販売！

*会期中のみ



||| ARTCUBE SHOP |||



セレクトされた和雑貨や食器のほか、細見コレクションの人気作品をモチーフとしたグッズは鑑賞の記念やお土産にぴったり。展覧会ごとに入れかわるグッズや関連書籍もお見逃しなく！

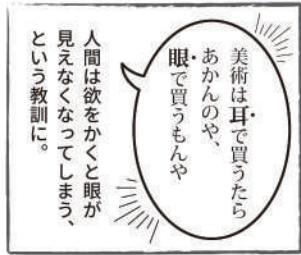
細見コレクションの“かわいい”が盛りだくさん

||| CAFÉ CUBE |||

オリジナル
ポストカード付き！

春限定の「さくらデザートセット」は酒井抱一《桜に小禽図》をイメージした華やかなデザートプレートです。夏は《金魚玉図》をモチーフにしたフロートドリンクを発売予定。おたのしみに！

25周年記念 季節を味わう限定スイーツが登場



漫画で読む

細見古香庵物語

細見コレクションの礎を築いた実業家の細見古香庵こと細見良は、昭和初期に毛織物事業を拡大する一方、古美術への関心も高まり、精力的に蒐集を行いました。古くは縄文・弥生時代の土器にはじまり、平安・鎌倉時代の宗教美術、室町時代の水墨画や茶の湯釜など各分野に幅広いコレクションを築きました。

REPORT by 茶室 古香庵



ミニ茶会

気軽にお茶会体験
洋食器のミニ茶会(2012)

気軽にお茶を愉しんでいただく企画として、様々なテーマで開催。時には洋食器で抹茶を点ててみたり…。



特別展示

杉本博司×ぎをん齋藤
「摺箔金銀波濤図屏風」(2016)

茶室で作品を公開。展覧会や季節に合わせた特別な室礼をご覧いただくことも。

茶の湯体験 ご予約受付中！
茶道の歴史や作法を解説。薄茶点前のデモンストレーションもあり、海外の方にも大人気！（事前予約制）



アクティブ鑑賞会

茶室で出会う日本の美
令和をひらく、寿ぎの美(2019)

ガラス越しではない鑑賞体験を少人数制で開催。作品の受け止め方やその表現方法を磨きます。

細見美術館 友の会「古今」
春の入会キャンペーン実施中！

期間：3月18日(土)～6月30日(金)

フレンドシップメンバー [年会費] 4,000円(税込)
★入会日より1年間、何度でも展覧会をご覧いただけます

期間中に新規ご入会・ご更新いただいた方対象

特典1
オリジナルグッズをプレゼント

特典2
招待券(有効期限：2024年3月31日まで)をプレゼント
お友達やご家族と一緒に展覧会をお楽しみください

